

東寺方複合施設の整備に向けた地域協議会 設立趣意書(案)

令和 7 年 5 月 17 日
資 料 1

1. 設立の背景と目的

私たち東寺方地域の住民は、地域の将来を見据えた持続可能で活力あるまちづくりを実現するため、地域住民の意見を反映した公共施設の整備が必要であると考えています。

現在、東寺方地域においては、既存公共施設の老朽化が深刻化しており、安全性や機能性の観点からも、施設のあり方そのものを見直す時期に来ています。

こうした背景を踏まえ、地域の実情に即し、これからの東寺方地域のコミュニティ形成に資する複合施設の整備が求められています。

このような状況の中、私たちは、単なる施設の更新にとどまらず、「地域にとって本当に必要な機能とは何か」を住民自らが主体的に考え、提案することが重要であると考えます。そこで、地域住民が主導して施設の見直しや再編を検討する協議会を設立し、行政や関係機関と連携しながら、地域に根ざした持続可能な施設づくりを目指すものです。

2. 協議会の目的

本協議会は、東寺方地域の老朽化している公共施設の整備に向けて、地域の課題や地域住民のニーズ等を把握し、施設が提供するサービス・機能の見直しや整備手法等について地域住民の立場から主体的に検討・提言を行うことで、地域に根ざした施設づくりに寄与することを目的とします。

3. 活動の基本方針

- ・ 地域住民の多様な意見を尊重し、開かれた議論を行う
- ・ 現状の課題に真摯に向き合い、実現可能な解決策を模索する
- ・ 中立・公正な立場で合意形成を大切にする
- ・ 地域住民への周知に努め、相互理解を促進する

4. 協議会の構成

本協議会は、以下のような多様な立場の地域住民で構成されます。

- ・ 自治会・町会など地域団体の代表
- ・ 子育て世代や高齢者など世代別の住民

- ・ 利用者や利用団体

5. 今後の展望

本協議会は、施設の老朽化を契機としたコミュニティ施設化の検討を通じて、将来にわたり地域に役立つ拠点となる施設の実現を目指します。また、施設の実現後も、継続的に地域との関わりを維持し、住民による運営・活用への参画も視野に入れた活動を行って参ります。

令和7年5月17日

東寺方複合施設の整備に向けた地域協議会 設立発起人一同